



# タカラトミー 会社紹介

## 会社概要

- 1924年創業の長い歴史を持つ
- 経営理念

われらの優良な商品で  
世界の市場をにぎわせよう

誠意と努力は他を益し  
自己の幸福の基となる

- 主な事業内容
  - ✓ 玩具事業：玩具、トレーディングカードゲーム、ホビー、乳幼児製品等
  - ✓ 玩具周辺事業：カプセル玩具、アミューズメント機器、玩具菓子等
- 東京証券取引所プライム市場上場
  - ✓ 時価総額：1,406億円（2023年3月末）
- 連結従業員数
  - ✓ 2,476名（2023年3月末）

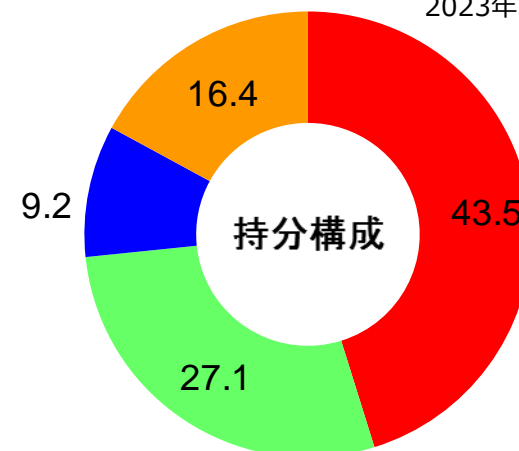
## グループ会社

2023年3月31日現在

日本	トミーテック、タカラトミーアーツ タカラトミーマーケティング、 キデイランド他	連結子会社 35社
欧米豪	TOMY Holdings TOMY International、他	
アジア	TOMY Hong Kong TOMY Thailand、他	

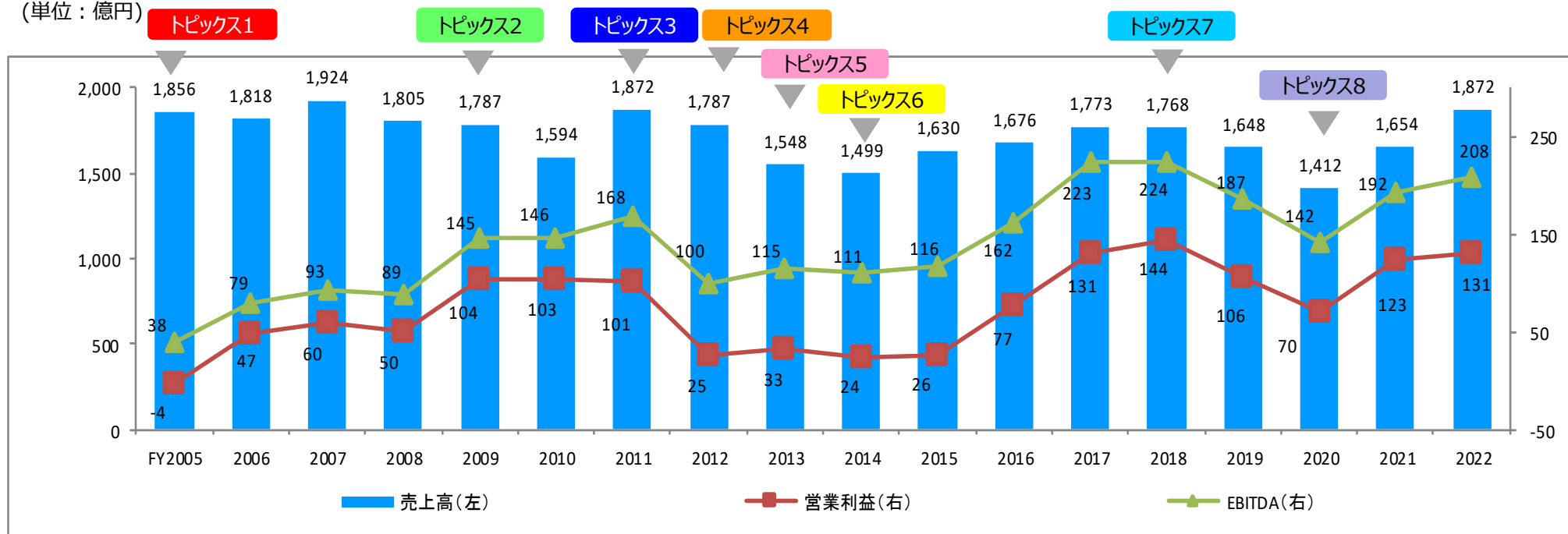
## 株主構成

2023年3月31日現在



■ 個人 ■ 金融機関 ■ 法人 ■ 外国人

(単位：億円)



- トピックス1** タカラを吸収合併し、合併による多額の特別損失を計上するが売上高は大幅増加
- トピックス2** 採算性の低い商品の削減に加え、男児向け商品「ベイブレード」、映画「トランスフォーマー」関連商品のヒットと、グループ全体での事業構造改革が奏功
- トピックス3** アメリカの玩具メーカー R C 2 を買収
- トピックス4** 日本での玩具販売の苦戦と海外ビジネスの業績悪化に対し、希望退職の実施や事業構造改革に着手
- トピックス5** 利益率の低いTVゲーム卸子会社売却（売上高の影響前年度差-307億円）や中国事業の一部撤退を決断し、業績は底打ち
- トピックス6** 中期経営方針の中で「商品改革」「ビジネスの構造改革」「意識改革」の3つの改革を掲げ、売上成長による利益増加を目指す
- トピックス7** 前・中期経営計画の中で「新たな成長へ、挑戦」をテーマに6つの事業戦略を重点的に推進し、過去最高益を達成
- トピックス8** 新型コロナウイルス感染症が拡大し外部環境が大きく変化。2020年10月米国の独立系玩具会社Fat Brain Holdings, LLCがTOMY International, Incの子会社になる。

# 主力商品ブランド (日本)



✓ 安定的な売上に寄与する定番玩具商品を多数有し、また新たなヒット商品も生み続けています



- 1970年に発売
- 日本初の手のひらサイズの国産車ダイキャスト製ミニカーシリーズ
- 累計1,140種以上の車種、販売数は7億2,500万台超



© TOMY



- 2017年に誕生から50周年迎えた着せ替え人形
- SNSを活用するなどし、ブランド化を推進

© TOMY



- 実在する車両の鉄道玩具。
- 2019年に60周年を迎えたロングセラー
- 累計1,962種、1億8,640万個以上を販売



JR東海承認済 © TOMY



- 2002年に開始した人気コミック、アニメシリーズのトレーディング・カードゲーム



TM and © 2023, Wizards of the Coast, Shogakukan, WHC



- ポケモンメザスタをはじめ、キッズ向けのゲームマシンを展開



※手に入るタグは時期によって異なります。  
※イメージ画像も含まれます。

©2023 Pokémon. ©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. Developed by T-ARTS and MARV



- 日本でトップシェアを誇る
- 車両からジオラマまで幅広く展開



JR東日本商品化許諾済、JR東海承認済、JR西日本商品化許諾済、JR九州承認済、近畿日本鉄道商品化許諾済、小田急電鉄商品化許諾済

# 主力商品ブランド (海外)



✓ 日本発の玩具、そしてTOMY Internationalの玩具とベビー商品を更に拡販します

## 日本で生まれた世界的な玩具



© TOMY

- 130以上の国と地域で展開のグローバルな変形ロボットキャラクター
- 累計販売数7億個以上



- 2023年7月から日本にて第4世代『BEYBLADE X』の販売を開始
- 世界80以上の国と地域で、累計出荷数5.2億個以上

©Homura Kawamoto, Hikaru Muno, Posuka Demizu, BBXProject, TV TOKYO © TOMY

## TOMY International



- 世界的な農耕車両の玩具
- プリスクール向け商品から精巧なレプリカまで幅広いラインナップ



- 哺乳瓶や食器類、ベビーカーなど、子育てをサポートするベビー用品



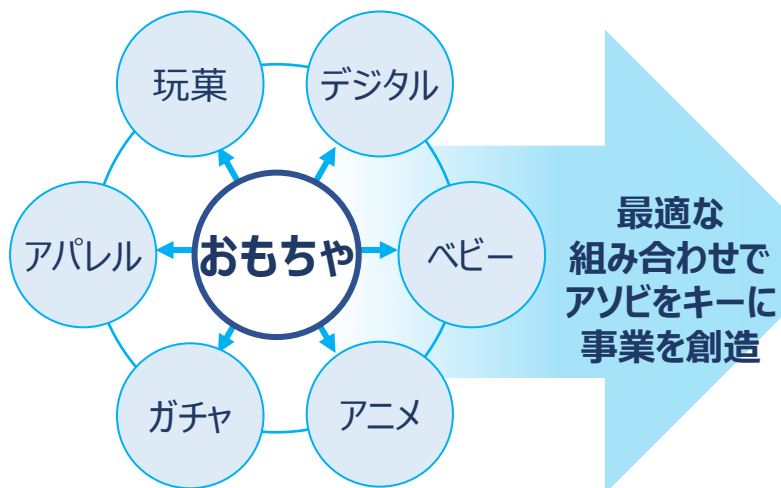
- 発育、月齢に合わせた乳幼児向け知育玩具
- 幼児発達の専門家のアドバイスを心得て開発



Lamaze ©  
©Disney Disney.com  
©Disney/Pixar Disney.com

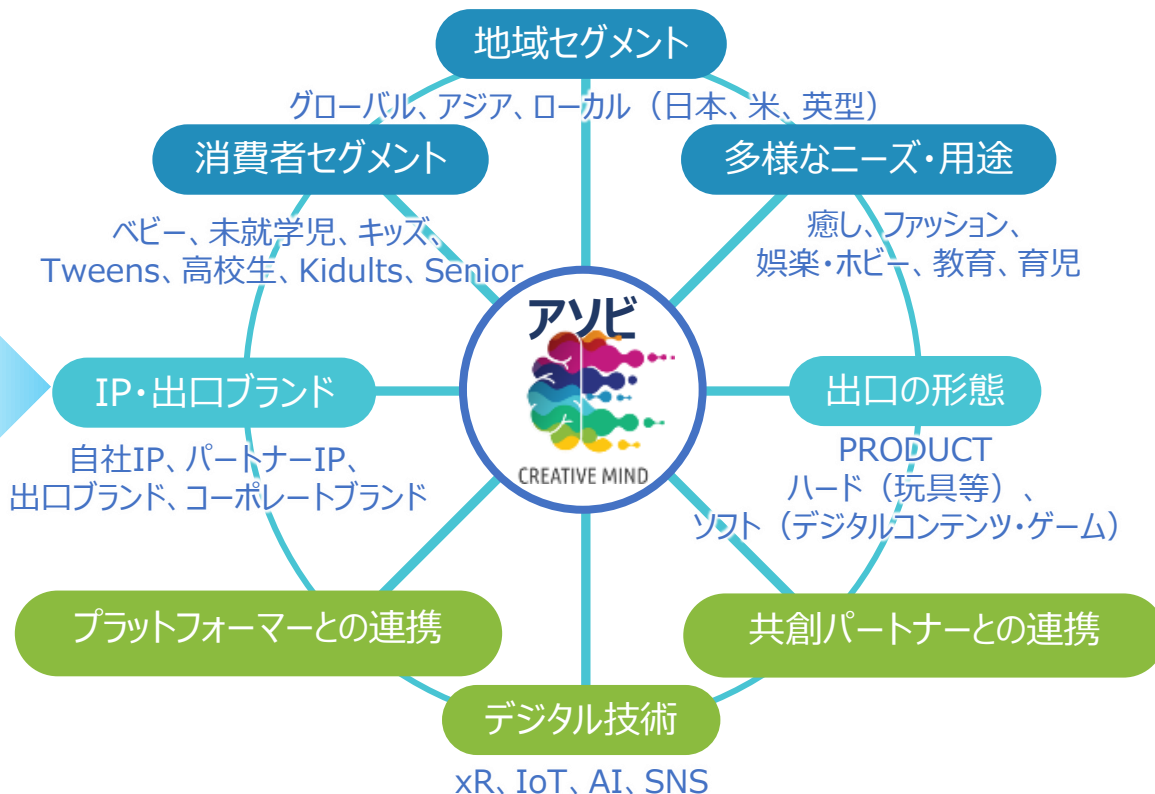
## これまで

対象 3-6歳を中心とした子どもと親



## これから

対象 アソビ心をもつ世界中の全ての人々



「おもちゃ」から「アソビ」をすべての基点とする。  
アソビで、世界はもっとよくなる。  
だから

アソビで、未来のグローバル社会に大きくこたえます。

## エイジレス化 を推進

多様化する人々のライフスタイルに応じ、  
これまでの乳幼児、子ども中心だけではなく、  
アソビ心をもつ世界中の全ての  
人々の市場を賑わせます

## 事業領域を 拡大

最先端技術や異業種とのコラボを実現し、  
情報付加価値の高い事業や  
商材を創造します

## 課題解決 の力

課題解決のイノベーション、創意工夫  
いままでの延長線で考えない

## 中期方針

グローバルで強みを活かしたSustainable Growth（持続的成長）実現に向けた基盤整備を行う。

- 日本の収益基盤を早急に立て直す
- 欧米アジアは地域に強い既存ブランドを生かして収益力を改善する
- 今後の成長の為にアソビを軸にした事業領域拡大の準備をする
- さらなるグローバル成長に備える3年間とする

## 全社戦略

① 「適所適材」をキーとした出口・年齢・地域のさらなる攻略

② 日本を基点としたヒット商品の創出

③ IP投資の継続でグローバル成長に備える

④ アソビをキーとした新規事業の立ち上げ

⑤ バリューチェーンへのDX活用による新しい価値創造

⑥ サステナビリティ・CSRの取組み

事業の持続的成長を支える機能戦略

### 企画・開発

- グローバル市場に向けた商品開発
- 新規市場に向けた事業研究

### 生産

- 自動化の推進
- チャイナプラスワンの更なる促進

### マーケティング

- マーケットインを強く意識したマーケット情報の企画開発へのフィードバック
- D2Cの積極拡大

### 財務

- 安定的なキャッシュ創出による次世代に向けた投資原資の確保



# 経験豊富な経営陣

- ✓ 2018年1月から小島一洋代表取締役社長のもと、新たな経営体制がスタート
- ✓ 代表取締役2名体制を導入し、迅速な経営を進めております
- ✓ 2018年度は女性取締役を選任、2019年度には社外取締役を過半数としました
- ✓ 2020年度からは、女性の社外取締役を2名増員の3名とし、かつ引き続き社外取締役を過半数としております



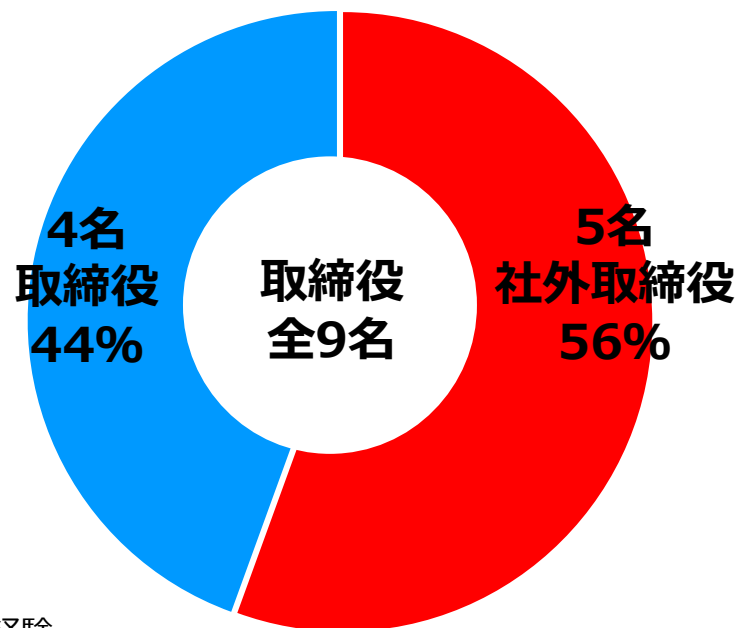
代表取締役会長  
富山 幹太郎

- 2015年 当社代表取締役会長 就任
- 玩具業界で30年以上の経験
- トミーとタカラの合併を牽引
- 1986年の社長就任時に困難なリストラを実施
- 英国のUniversity of Hull (Sociology) を卒業
- トミー創設者（富山栄市郎）の孫であり、
- トミー前社長（富山允就）の息子



代表取締役社長  
小島 一洋

- 2018年 当社代表取締役社長 就任
- 2017年 当社代表取締役副社長
- 2012年 当社取締役常務執行役員
- 2009年 当社社外取締役
- 2008年 丸の内キャピタル株式会社執行役員
- 1983年 東京大学卒業、三菱商事株式会社入社
- 15年以上にわたるベンチャーキャピタル、バイアウトビジネスの経験
- 生産、物流の効率化や欧州ビジネスの改善に取り組む



✓ **タカラトミーでは当社ならではの取組みを推進しています。これからも長期に渡り、継続的に実行できることを主眼に、着実に取り組んでまいります。**

※「タカラトミーグループのサステナビリティ・CSR」 [www.takaratomy.co.jp/company/csr/](http://www.takaratomy.co.jp/company/csr/)

## 共遊玩具

タカラトミーでは、1990年、目や耳の障害の有無にかかわらず楽しく遊べるよう「配慮」された一般市場向けの玩具「共遊玩具」を提唱し、この取組みは、現在玩具業界全体へと広がっています。



共遊玩具 ロゴマーク



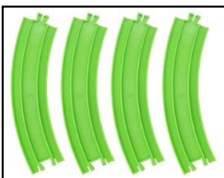
スイッチの「ON」に「凸」表示

## エコイ活動

タカラトミーでは、地球環境に配慮したおもちゃづくりを行うと共に、未来を担う子どもたちにおもちゃを通して環境への気づきのお手伝いをしたいと考えています。業界他社に先駆けて、2011年から「エコイ」活動をスタートし、安全な再生プラスチック材料を使用した「エコイ」マークおもちゃが誕生しました。また当社は“おもちゃではじめて”エコマークを取得しております。



エコマーク



エコ曲線レール  
再生材料を50%以上  
配合している  
グリーンの曲線レール



エコイマーク

## 安全品質

商品のグローバル展開に合わせ、それぞれの地域ごとの法令、規制等を遵守することで各国における安全品質の確保に努めるほか、当社グループ独自の安全品質基準を設定し、より厳格な基準の設定によって事故の未然防止に取り組んでいます。さらに、年1回国内外の従業員全員を対象にして、安全品質担当部門のリードのもとで商品の安全品質と管理について研修する場を設け、その重要性の認識と理解促進に努めています。社内検査設備における検査の実施



## 次世代教育支援

タカラトミーでは、半世紀以上にわたって親しまれている人気のおもちゃ「人生ゲーム」を通じて、SDGsを学び「誰一人取り残さない」未来を実現するために自分ができることから行動して地域貢献を果たす授業プログラム「みんなでつくるSDGs人生ゲーム」を日本全国で実施しています。



「みんなでつくるSDGs人生ゲーム」



社員が講師となってオンライン授業を実施



本資料には、タカラトミーの現在の見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または事業展開を確約したり、保証するものではありません。